

令和 6 年 5 月 10 日

全肢長会代表者会提案資料

特命担当理事 田村康二郎

(東京都立墨東特別支援学校)

## 本会による肢体不自由教育創始 90 周年記念事業の御提案

### 1 事業趣旨

昭和 7 年（1932）に開校の東京市立光明學校（現：東京都立光明学園肢体不自由教育部門）によって、国内で初となる公立学校における肢体不自由教育は、コロナ禍の令和 4 年（2022）に創始 90 周年を迎えています。光明学園は光明學校から存続する肢体不自由教育創始の学校として今年 12 月 24 日に「光明学園創始 90 周年記念兼校舎落成記念式典」を予定されていますので、公立学校による肢体不自由教育創始 90 周年記念でもあります。

同学園の歴史を辿りますと、昭和 14 年に児童増を受けて、現在地の世田谷に新校舎建築を契機に本校拠点が移されました。2 校舎体制であった同校ですが、開校地の麻布分教場は空襲による消失により終戦時に廃校となりました。日本初の肢体不自由教育学校は戦禍をかいくぐり、世田谷の地で戦後も存続しました。1 校目の開校から四半世紀が経った後、公立養護学校整備特別措置法の成立を受けて、昭和 32 年前後から全国各地に公立肢体不自由校の設置が始まります。昭和 33 年 5 月には、全国の肢体不自由養護学校長 8 名が光明養護学校に参集し、本会のルーツとなる全国の肢体不自由養護学校長が結集する校長会が結成されました。（さらに同校を起点に同年 7 月に全国肢体不自由 PTA 連合会も結成されました。）

こうした歴史的な経過を踏まえ、この節目となる時期、今に続く歴史の発端となった同校校地の公道に面した一角に、本会を含む公教育としての肢体不自由教育の歴史の変遷に関する説明版を付した公立肢体不自由教育の創始の学校であることを示す記念碑を建立したいとの趣旨です。

尚、本会による事業は、8 年後の令和 14 年（2032）に迎える公立学校における肢体不自由教育創始 100 周年に向けての欠くことのできない大事な一歩となるものです。

### 2 事業概要

公立学校としての肢体不自由教育創始 90 周年記念碑（仮称）の建立

### 3 予算

本会運営の通常会計とは切り離れた扱いとして、特別会計（指導書出版に伴う印税収入）に長年蓄積している資金から 80 万円の支出承認を提案します。

※事業終了後に残金を戻入します。

内訳 記念碑発注 58 万 3 千円（税込）

仕様：ステンレス製エッチングサイドスタンド寸胴「く」型上面サイズ W50×H50

上面及び脚正面部分に文字・写真（3 点以内）の刻印を含む

設置工事費 21 万 7 千円（税込）

### 4 スケジュール

- 令和 6 年 1 月 事務局で事業化を検討 次期代表者会時に特命担当理事から提案
- 4 月 実地踏査及び設置予定校との事前相談（光明学園校長・経営企画課長）
- 5 月 代表者会で提案
- 6 月 承認を経て、製作・施工業者との仕様詳細の調整後に仕様決定
- 7 月 光明学園校長宛の寄贈願い文書提出
- 8 月 同校校長より学校設置者（東京都都教育庁）への記念碑寄贈及び設置協議
- 8 月 設置者よりの同意確認 ⇒ 本会への伝達
- 9 月 本会から業者への正式発注 10 月 製作期間
- 11 月 完成品確認、第 2 回代表者会への報告
- 12 月 上中旬：搬入・設置工事、下旬：設置披露
- 令和 7 年 1 月 第 3 回代表者会で事業完了報告及び決算報告

- 5 推進組織 「肢体不自由教育創始 90 周年記念事業」実行委員会を設置
- 委員 長：田村康二郎特命理事 副委員長：伴 光明特命理事
- 副委員長：永島 崇子副会長 委 員：本会事務次長
- ※本事業完了後は 100 周年記念事業準備委員会に発展的移行を予定

## 6 備 考

肢体不自由教育発祥の地である光明学校開校の地（現：港区絶江児童遊園）の一角には同校 PTA が開校 50 周年時に「肢体不自由教育発祥」の記念碑を建立しています。

学校認可を受けた公立学校による肢体不自由教育は昭和 7 年開校の東京市立光明学校（小学校に類する各種学校として東京市認可）が国内初となる。

一方、柏倉松蔵氏による柏学園（大正 10 年開設）では、少人数の肢体不自由児が寄宿して治療体操やマッサージを施すとともに、教諭経験のある妻の柏倉とく氏が国語・算数等の補習指導を行っていたが、学校認可を受けていないため、療護施設あるいは私塾と評されている。

ごく少数の肢体不自由児を受け入れていた学校が皆無であったとは言い難いが、肢体不自由児を対象とした専用の教育課程を編纂していた学校は光明学校が初めてである。

### ▼設置例



東松山市役所

ステンレスエッチング サインスタンド ずん胴「く」型

面板サイズ:W50×H50cm ずん胴「く」型 ¥583,000(税抜¥530,000)



▲交差点「光明学園角の学園管理花壇」▲

## 公立学校による肢体不自由教育 創始90周年記念

令和4年（2022）に創始90周年を迎えた東京都立光明学園の歴史は、国内の肢体不自由教育を行う公立学校の歴史と重なる。日本で初めて肢体不自由教育を行う公立学校として「東京市立光明学校」は昭和7年（1932）に港区南麻布の地で開校した。昭和14年（1939）に現在地（世田谷区松原6丁目）に本校拠点を移し、麻布分教場と2校舎体制となった。その後、学校令改正により昭和16年（1941）に東京市光明国民学校と改称した。昭和18年（1943）に東京都の設置を受けて都立学校となった。戦禍激しい昭和20年（1945）5月に長野県の上山田温泉に学童疎開し、肢体不自由教育を継続した。終戦を迎えた後も、空襲により本校舎の大半を焼失していたため、約4年間にわたって戦災孤児等学童集団合宿教育所として疎開先に留まらざるを得なかった。昭和22年（1947）施行の学校教育法に基づき、都立光明小学校と改称した。併せて都立光明中学校も併設した。尚、空襲により焼失した麻布分教場は閉校となった。

昭和24年（1949）、校舎完成を機に現在の地に復帰した。その後、公立養護学校整備特別措置法成立に基づき、昭和32年（1957）4月に東京都立光明養護学校と改称した。昭和33年（1958）には、全国初となる高等部が設置された。またこの年の5月に光明養護学校に肢体不自由養護学校長が結集し、校長会が発足した。現在の全国特別支援学校肢体不自由教育校長会の発端である。さらに同年7月、同校を起点に「全国肢体不自由養護学校PTA連合会」（現在の全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会）が発足した。

平成19年、学校教育法改正に基づき、東京都立光明特別支援学校と改称した。平成29年、組織改編に基づき、肢体不自由教育と病弱教育の2部門併置の「東京都立光明学園」として再出発し、現在に至る。」

このように光明学園ルーツである「東京市立光明学校」唯一校から始まった公立学校による肢体不自由教育は、90年を超える年月を重ねる中で全国各地に広がり、200校（2024集計）を超える規模に至っている。

贈 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会